

『永遠の命に輝いて生きる！』 コリント人への手紙第二4章 11～14 節 2016.1.17(礼拝説教より)

『私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じて命を保つ者です。』ヘブル 10:39

日々苦勞や悲しみがあるこの人生…落ち込み、諦め、投げ出したくなる時、何に支えられ、どんな信仰が持てるというのか？1、16節に2度『～なので、私たちは勇気を失わない！』とある。その理由は、「神の憐れみを受けてこの務めに任じられている」から！私たちは、誕生から世を去る時まで、全ての出来事に創り主による意味と目的があり、全能者の憐れみに支えられてこそ実を結ぶ！神を離れ、我力だけで頑張る人は、愚痴や不平が出て、やがて落ち込み、疲れ、燃え尽きる。勿論、誰もが頑張って認められたいもの！しかし、評価され、褒められた時、『すべては神様のお陰だったなあ～！これから先どんな厄介な課題がきても大丈夫だなあ～！』と謙虚に、嬉しく、誇らしく神に感謝する！これが人生の本当の安心・祝福である！

◆『私たちは、イエスのために絶えず死に渡されていますが、それは、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において明らかに示されるため(11 節)』。悪と罪に支配されたこの世で私たちもイエス様のように苦しむ…。しかしイエス様の甦りの命が、私たちをその苦悩から救い出し、あらゆる試練を乗り越えさせてくださる！全ての不幸の真ん中で『神様！自分には想像もつかない、あなたの御計画があると信じ、感謝します！』と祈るとき、驚くべき逆転が起きる！

◆復活の命に輝く人に、明らかな特徴がある。『私は信じた。それゆえに語った…(13 節)』。握っている命の御言葉が、感謝・讚美が口に出てくる！(詩篇 1:2～3/ローマ 10:9～10)。「感謝」と「考える」と「記憶する(覚える/思い出す)」と語源が同じという。つまり、人生を振り返り、どんなに多くの恵みをいただいてきたかをよくよく考えて、忘れない人の口には、いつも神への感謝と賛美があるという。『恐れ退いて滅びる』をリビングバイブルは『神様に背を向けてみじめな結果に…』と訳す。命の言葉を握りしめ(ピリピ 2:14～16)、失ったものではなく、今いただいている沢山の神からの恵みを数えつつ、あなたが喜びに満たされ、そのあなたを通して隣人に社会に感謝が満ち溢れますように！

★そのために、『今日』、あなたにできることは何でしょうか？